

テストの点数だけが学力なの？ 競争に勝つことだけが幸せなの？

# 「教員評価」で学校が良くなるの?!

## 「大阪府教職員の評価・育成システム」とは？

大阪府では、校長や教員に5段階のランクをつける制度が実施されています。

- ①まず、教育長（知事が実質的に選任）が、校長に「学校目標」を決めさせます。
- ②その「学校目標」にそって、教員は「自己申告票」を校長に提出させられます。
- ③1年の終わりに、教員は、申告したとおり目標を達成したか・能力を発揮したか、校長からランクをつけられます。校長は教育長からランクをつけられます。（このランクによって給与やボーナスが決まります。）

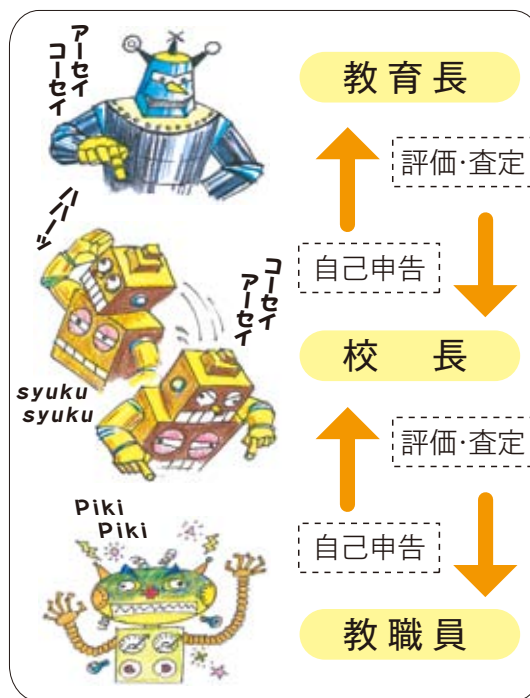
## なぜ、それが問題なの？

行政が指示した教育目標や内容によって教員がランクづけされるなら、目標に合う・合わないで子どもたちは選別されてしまいます。

そのとき、子どもたち一人ひとりの個性はつぶされてしまうのではないのでしょうか。

## 私たちの訴えを聞いてください

学校にはいろんな子どもたちがいます。だからこそいろんな教員が協力しあうことが必要なのです。ところが大阪の教員評価は、一人ひとりがランクをつけられます。当然、教員同士はバラバラにされてしまいます。そのとき一番被害を受けるのは子どもたちなのです。



## 教職員評価育成システムで、 教員の資質能力の向上は、ぜったい望めない!

小学校保護者（支える会会員）

親は誰しも、わが子に幸せになってほしいと思うものです。幸せに生きるということは、人がその人らしく大切にされていることだと思います。

競争で格差が拡大する社会や学校の仕組みでは、それがないがしろにされているために、心が痛むのです。

人として大切にされているかどうかは、ある側面だけをとりあげて数値で表されるようなものではありません。成果をいかに上げるかでランク付けされ、しかも賃金に反映させる大阪の教員評価制度では、先生たちは「申告した」目標ばかりに目が向き、そのために子どもたちが「ダシ」にされると思います。こんな競争教育によって、子どもたちをつぶさないで欲しいです。

それに何より、誰よりも教員の資質・能力の向上を望んでいるのは、子どもたちですよ!! なのに、「大阪府教職員評価・育成システム」には、子どもたちの思いが全く反映されていないのは、どう考えてもおかしいです!

子どもたちが人として大切に育てられるための学校教育にするには、じかに子どもたちの声を聞ける現場の先生方がしっかりするしかないのです。

子どもたちの声が聞こえなくなる教員評価制度をやめてください! 私たち保護者は、一人ひとりの子どもたちの“人生を生きる本当の力”を育める、真に資質・能力の高い教員の育成を求めます。

## どうなってるの？

### 大阪の教育条件は全国最低レベル!

- 大阪府の支出する、人口一人あたりの教育費、全国41位。
- 児童一人あたりに支出する、公立小学校費、全国44位。
- 小学校教員一人あたりの児童数、全国ワースト4位。
- 親の支出する教育費の家計に占める割合、全国ワースト9位。

※学力テスト結果の上位に位置する福井県や秋田県と比較すれば、大阪府がいかに教育にお金をかけていないかが、明らか!! 教員と子どもを競争に駆り立てるだけで、教育が良くなるはずがありません。

	大阪府		福井県		秋田県	
教育費(財政支出、人口一人当たり)	41位	12万円	3位	17万円	6位	16万円
公立小学校費(児童一人当たり)	44位	63万円	7位	85万円	4位	87万円
小学校児童数(教員一人当たり)	4位	19.3人	29位	15.1人	41位	13.8人
教育費割合(対消費支出、世帯平均)	9位	4.7%	47位	2.3%	36位	3.5%

※「統計で見る都道府県のすがた 2009」(総務省)より

## 校長の「自己申告票」 II 学校目標の実例

(2009年度)

- 誰も休まない、欠席者0の学校作りを進める(S小学校)
- 京大・阪大・神大への合格者を倍増し、府民の期待に応える進学校にする(T高校)
- 創立100年にむけて、関関同立への合格者年間100人、公式戦で年間100勝、遅刻指導対象者100人以下をめざす(H高校)

## 自己申告票「不提出」の教員の声

- ・この制度が定着すれば、問題の起こりそうなクラスの担任の持ち手はなくなる。子どもは、教員の「成果」の道具ではない。そんな学校にしないため、私は自己申告票を出さない。
- ・支援学校の教員をしている。校長の学校目標は、「障害の改善・克服を目指し、心身ともに健康な身体を育成する」。しょうがいのある生徒にとってそれは一つの個性。「障害」を「改善」させ、「結果」を求める教育は危険だ。私はこの学校目標にそった自己申告票は提出できない。
- ・大阪だけが全国で唯一、自己申告票を出さない教職員を昇給させない制度を作った。生涯賃金にして3000万円以上の損失になるが、それでも私は出せない。それは、この制度が教員に子どもを差別することを強いるからだ。
- ・派遣切りなど労働現場のひどい状況に比べると「教員評価」の問題はわかりにくいかもしれない。しかし、この制度がねらっているのは教員ではなく実は生徒だ。文句を言わない人間をつくりたいということだろう。